

普及活動情勢報告（平成27年9月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

葉柄の硝酸イオン濃度測定で迅速な現地指導 ～JAとさしイチゴ部会現地検討会～



現地検討会の様子

8月26日にJAとさしイチゴ部会の育苗期現地検討会が開催され、生産者ら9名が出席しました。

JA・農業改良普及課は、現地ほ場において、苗の葉柄を採取し、硝酸イオン濃度を測定し指導を行いました。現地ですぐに数字が判ることで、迅速な指導ができ、生産者同士の意見交換もより活発となりました。また、本年度は梅雨時の降水量が多く、8月中旬以降の気温が低かったこと等から、不時出蕾の増加を懸念する声が出ており、その対応策も検討されました。

今後も、農業改良普及課では、品質向上と収量増加のために現地検討会等による情報交換を通して部会を支援します。

酒米の生産者が技術交流 ～高知県酒米研究会が管内で現地検討会を開催～



ほ場で意見交換する参加者

9月7日、土佐市において高知県酒米研究会主催の現地検討会が開催され、県下の生産者や酒造メーカー、関係機関ら約30人の参加がありました。

農業改良普及課からは、土佐市における酒米「吟の夢」の生産状況を報告しました。また、栽植密度の改善による生産安定の実証ほにおいて、草丈や茎数、葉色など、これまでの調査結果等について報告しました。

参加者からは、「平坦部での刈り取り適期は、どのように判断しているのか。」「無効分けつを抑えるにはどうしたら良いか。」など、栽培管理について活発に意見交換されました。

農業改良普及課では、今後も実証試験等の結果を踏まえ、平坦部における「吟の夢」の栽培技術確立に向けて取り組んでいきます。

集落営農で元気な農業と活力ある地域づくりを ～第1回集落営農塾（基礎講座・伊野）～



八田地区での集落営農塾

いの町伊野地区において、今まで集落営農の推進を行っていない地区（9月10日）組織化について検討している八田地区（9月17日）を対象に集落営農塾を開催し、合計19名の参加がありました。

塾では、農業改良普及課から「集落営農の概要と必要性」「法人や任意組織の特徴について」等の講義を行いました。講義後には農業・農地の維持や地域の活性化に対する集落営農の役割等について質問があり、いの町も交え、活発な意見交換を行いました。次回から、農業改良普及課は関係機関と連携し、ワークショップ形式による課題解決の実技を行い、各地区の学習を進めます。

ミシマサイコについて学びました
～いの町七色の里営農組合ミシマサイコ視察研修～



熱心に行われた雨中の現地研修

農業改良普及課は、9月16日にいの町「七色の里営農組合」組合員6名といの町、JAコスモス吾北支所、いの町農業公社の参加による（農）ヒューマンライフ土佐と、いの町内でミシマサイコの試験栽培に取り組むほ場の視察研修を開催しました。

この研修は集落営農組織が新たな有望品目に取り組むための支援の一環として実施したもので、参加者は（農）ヒューマンライフ土佐の山中組合長から栽培上の留意点等を学び、ほ場の見学等をおして薬草栽培への関心を持つようになりました。

農業改良普及課は、関係機関と連携し、引き続き「七色の里営農組合」の状況に応じた栽培品目の検討を進めていきます。